

科目名	作業と生活【理学・作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	青 山 真 美						
開講年次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必修（作業） 選択必修（理学）
授業の概要 及びねらい	人がよりよく生きていくために何が必要でしょうか？本講義では、環境-人（健康）-作業の3者の関係を追求して、人の健康と福利（well-being）を促進するための作業と環境の重要性について概説します。						
授業の 到達目標	1 作業について説明できる 2 作業と健康との関係について具体例を示して、説明できる。 3 環境と作業、環境と健康との関係について具体例を示して、説明できる。 4 環境と作業と人の関係について具体例を示して、説明できる。						
学習方法	講義、グループ調査、発表						
テキスト及 び参考書等	教科書：「作業」って何だろう 医歯薬出版株式会社 参考書：人類がたどってきた道 海部陽介 NHK ブックス						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	○	◎	◎			60	
小テスト等		◎	○			30	
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表			○	○		10	
授業への参加度			○				
その他							
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第1週	オリエンテーション：作業と生活で何を学ぶか						
第2週	作業の定義、作業の意味、作業バランス						
第3週	作業と健康（DVD）：心が動けば体が動く（人生の回復）						
第4週	大学周辺にある作業を探しに出かけよう！（グループ調査）						
第5週	探索のまとめ：作業の多様性、場と作業、作業の連続性（グループ発表）						
第6週	探索のまとめ：作業の多様性、場と作業、作業の連続性（グループまとめ）						
第7週	環境・文化と作業：ヌイット・アイヌの世界						
第8週	自然環境と作業①						
第9週	自然環境と作業②						
第10週	自然環境問題の現状と作業との関係						
第11週	チンパンジーの生活と作業						
第12週	人類史における作業						
第13週	集団と作業						
第14週	心の回復過程と作業						
第15週	まとめ						
第16週	試験						
備考	事前にテーマに対する自分の知識を確認し、事後に知識の変化を確認すること。						